

業界イメージレポート2018

－ドライバー編－

業界イメージレポート2018－ドライバー編－ とは

「業界イメージレポート2018」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートはドライバーを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、ドライバーでの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、ドライバーでの就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と企業側	3
正社員と正社員以外	5
B. 離職者と企業側	7
C. 意向者とD. 非意向者	9

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2017年9月27日（水）～9月29日（金）
企業側のみ追加調査 2017年10月27日（金）～11月13日（月）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（課長・店長以上）・経営層、かつ人事・労務・教育または経営企画・総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象はドライバーの、計801人。

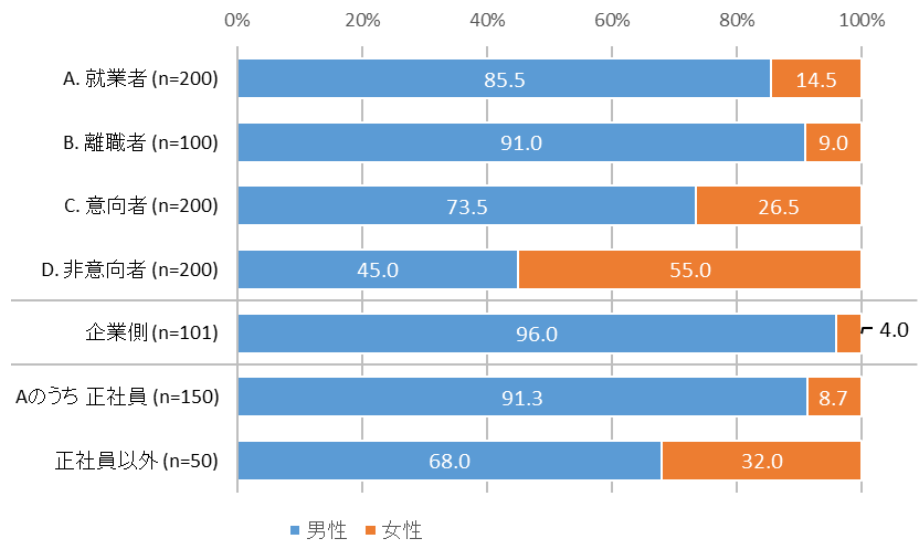
	個人側				企業側	
	就業経験者		就業非経験者			
	A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者		
コンビニエンスストア	200	100	200	200	4	
ホテル・旅館	200	100	200	200	20	
飲食店	ファーストフード	111	100	200	200	11
	居酒屋	156	100	200	200	13
アパレル・雑貨販売	200	100	200	200	21	
介護サービス	200	100	200	200	43	
ドライバー	200	100	200	200	101	

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

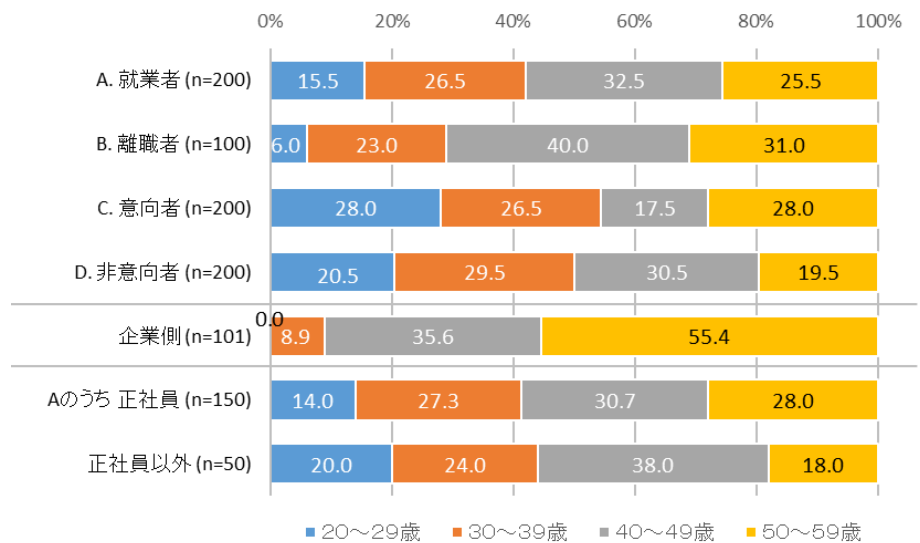
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。非意向者以外はいずれのセグメントも男性の比率が高い。A. 就業者、B. 離職者、企業側、Aのうち正社員※1では、8割以上が男性となっている。ただし、正社員以外※2では女性が約3割いる。



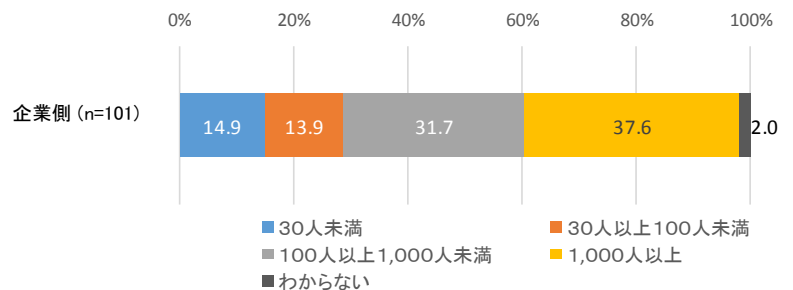
■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A. 就業者は40代が32.5%でもっとも多く、次いで30代、50代が多い。企業側は50代がもっとも多く、5割を超えている。



■ 従業員規模

企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。1,000人以上が37.6%、100人以上1,000人未満が31.7%などとなっている。



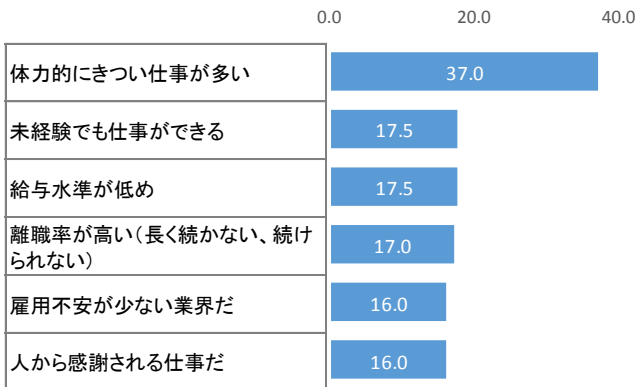
※1 自営業者などを含む。

※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。

業界イメージ 1 A. 就業者と企業側

■ A. 就業者の上位5項目

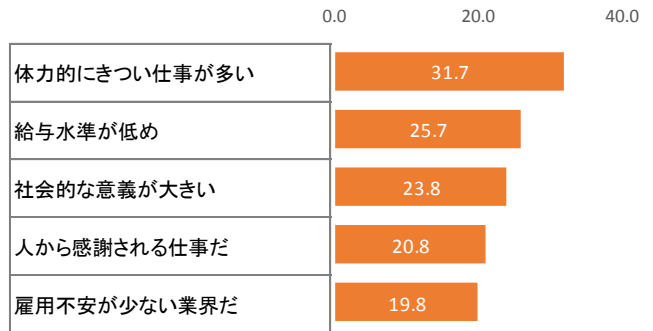
就業者の37.0%が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージを持っており、もっとも多い。「給与水準が低め」「離職率が高い」などのネガティブなイメージも上位となっている。



(%, n=200)

■ 企業側の上位5項目

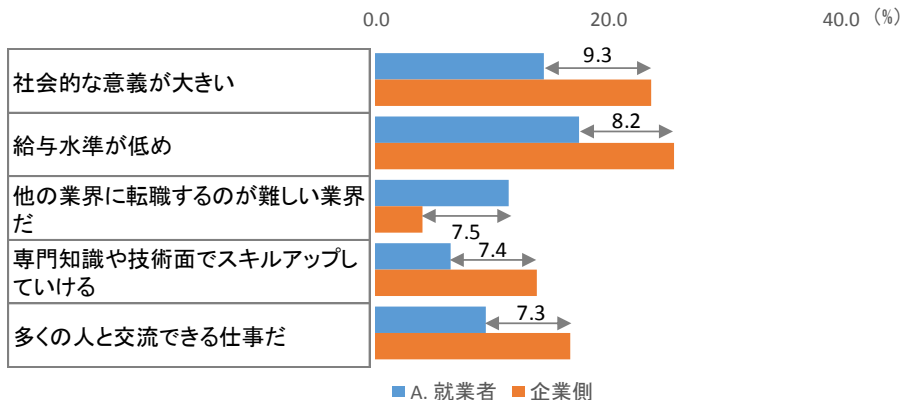
企業側がもつイメージのうち、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「人から感謝される仕事だ」「雇用不安が少ない業界だ」は就業者の上位項目と一致している。



(%, n=101)

■ A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

企業側は「社会的な意義が大きい」「専門知識や技術面でスキルアップしていける」「多くの人と交流できる仕事だ」というイメージをもっているが、就業者はあまりもっておらず、ギャップが大きい。

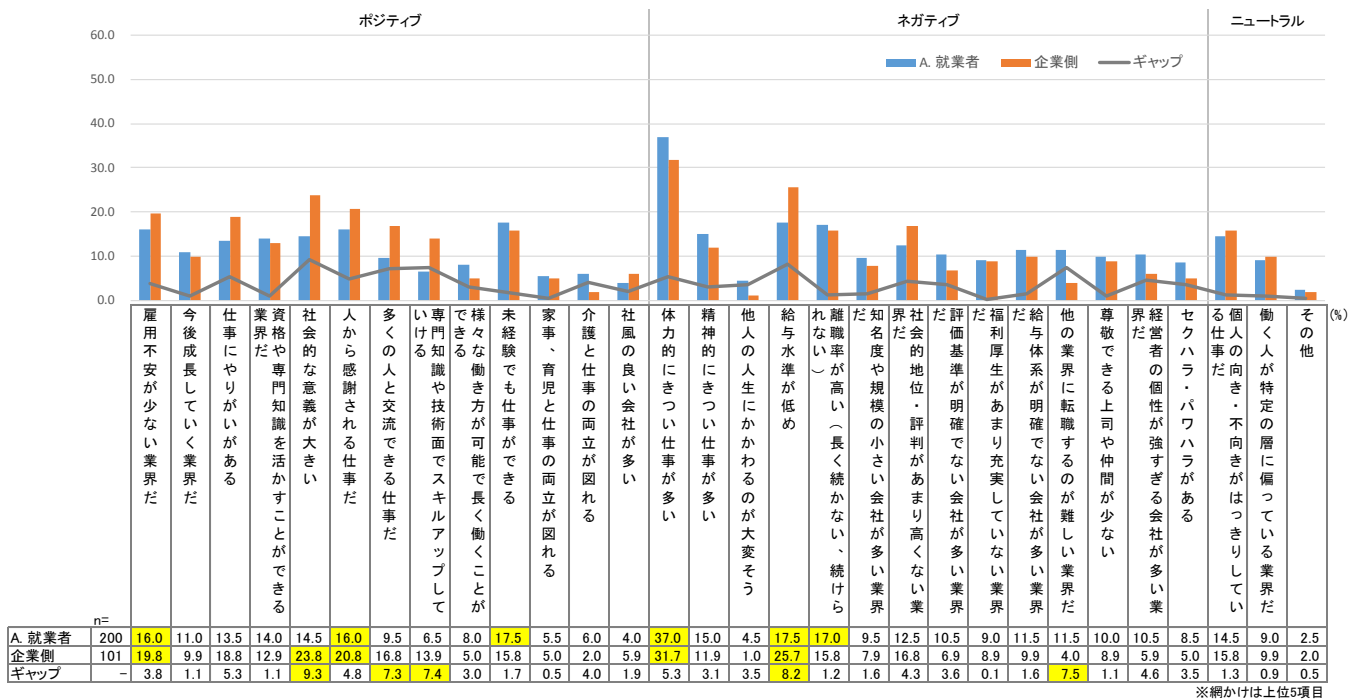


A. 就業者と企業側

ドライバーについてどのようなイメージをもっているか、現在ドライバーとして働いている就業者と、企業側に聞いた。

就業者の37.0%が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージをもっており、もっとも多い。「雇用不安が少ない業界だ」などポジティブなイメージもある一方、「給与水準が低め」「離職率が高い」など、ネガティブなイメージも上位となっている。企業側がもつイメージ上位5項目のうち、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「人から感謝される仕事だ」「雇用不安が少ない業界だ」は就業者の上位項目と一致している。

両者のギャップをみると、企業側は「社会的な意義が大きい」「専門知識や技術面でスキルアップしていく」「多くの人と交流できる仕事だ」といったイメージをもっているが、就業者はあまりもっておらず、ギャップが大きい。



【A. 就業者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ドライバーの仕事（MA）

【企業側】

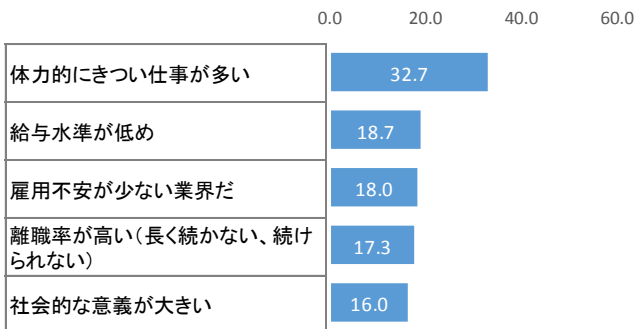
Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）

業界イメージ 2

正社員と正社員以外（A. 就業者）

■ 正社員の上位5項目

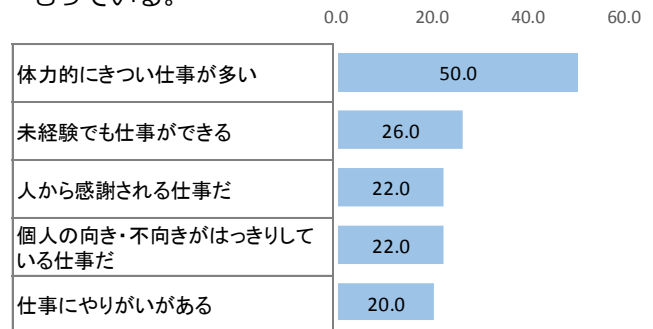
就業者のうち正社員がもっているイメージは、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多い。「給与水準が低め」「離職率が高い」など、ネガティブなイメージも上位となっている。



(%, n=150)

■ 正社員以外の上位5項目

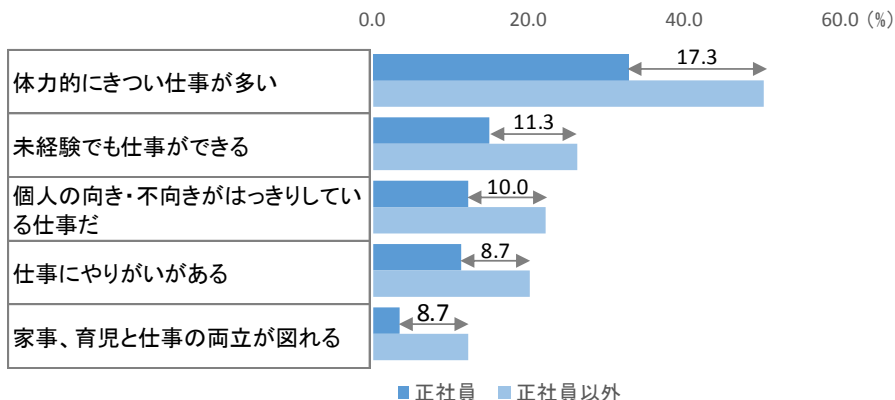
正社員以外でも、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多いのは、正社員と共通している。「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」といった点で、ポジティブなイメージもっている。



(%, n=50)

■ 正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

「体力的にきつい仕事が多い」「未経験でも仕事ができる」「個人の向き・不向きがはっきりしている仕事だ」など、いずれも正社員以外の方が割合が高い。



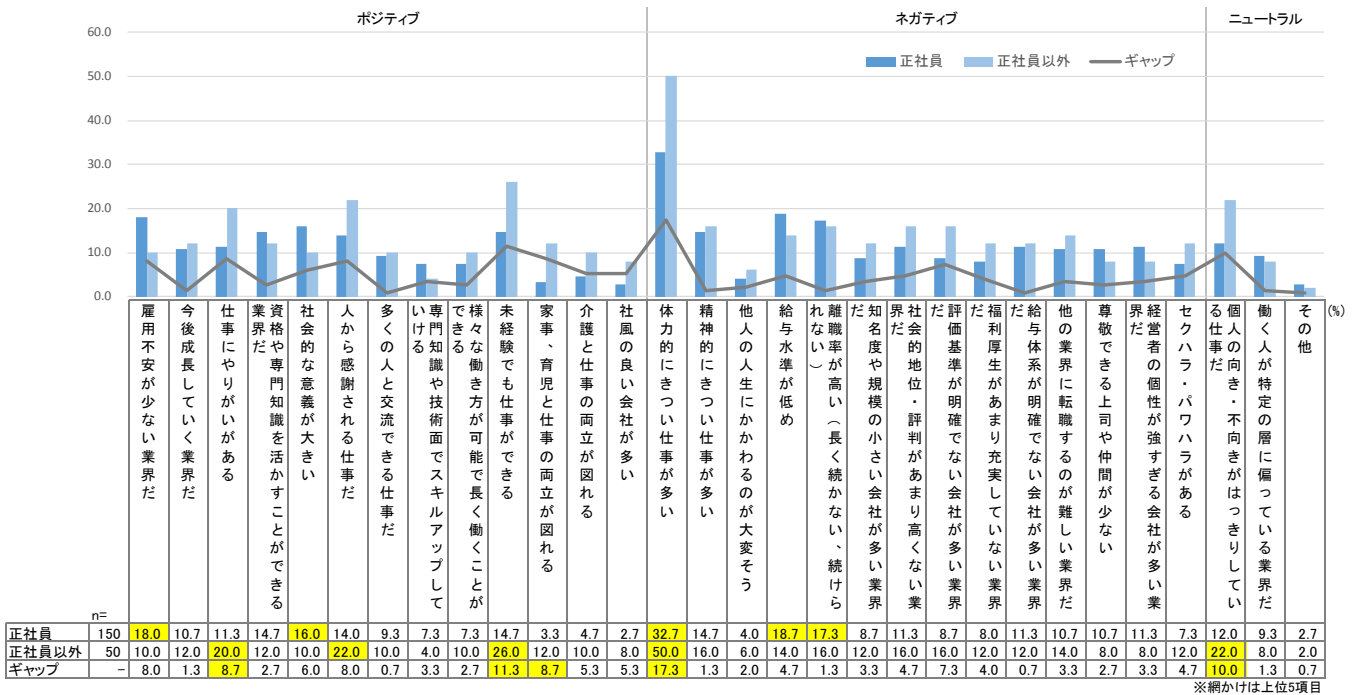
■ 正社員 ■ 正社員以外

正社員と正社員以外（A. 就業者）

正社員*と正社員以外に分けてみてみよう。（*自営業者などを含む。）

就業者のうち正社員がもっているイメージは、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多い。「給与水準が低め」「離職率が高い」など、ネガティブなイメージも上位となっている。

正社員以外でも、「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多いのは、正社員と共通している。「人から感謝される仕事だ」「仕事にやりがいがある」といった点で、正社員よりポジティブなイメージをもっている。



【A. 就業者】

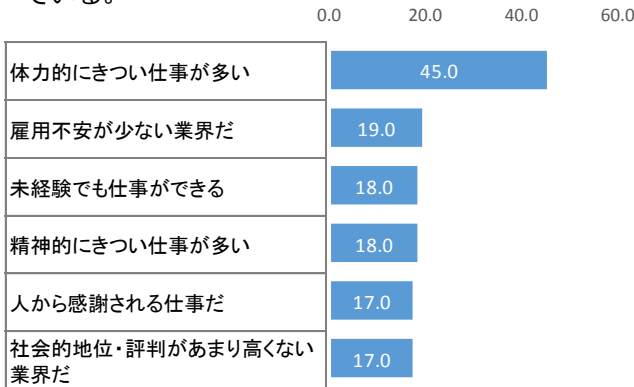
Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ドライバーの仕事（MA）

業界イメージ 3

B. 離職者と企業側

■ B. 離職者の上位5項目

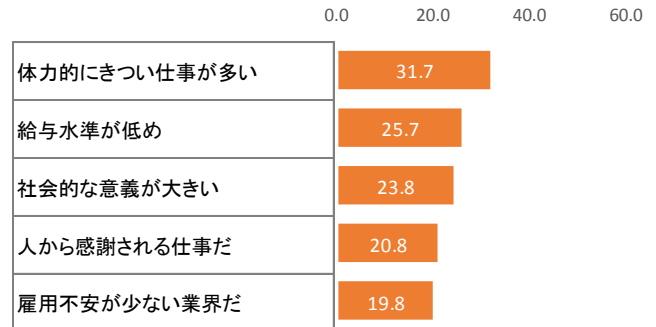
離職者がもつイメージは「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多い。「精神的にきつい仕事が多い」「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」など、ネガティブなイメージも上位となっている。



(%, n=100)

■ 企業側の上位5項目

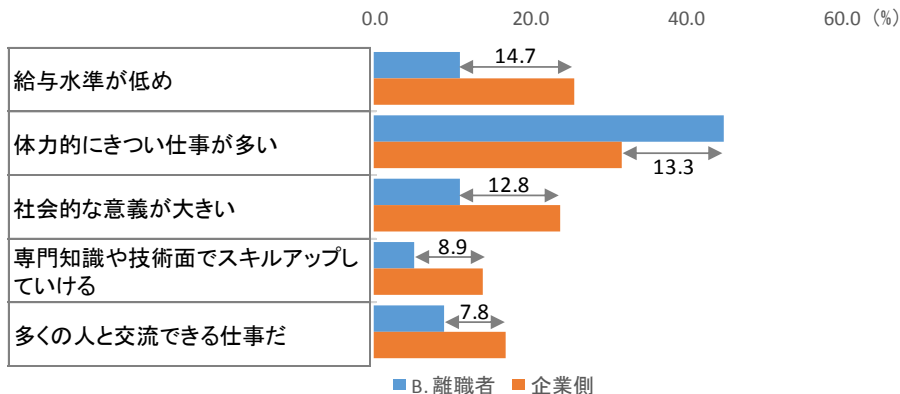
企業側がもつイメージのうち、「体力的にきつい仕事が多い」「人から感謝される仕事だ」「雇用不安が少ない業界だ」は離職者の上位項目と一致している。



(%, n=101)

■ B. 離職者と企業側のギャップが大きい5項目

「給与水準が低め」「社会的な意義が大きい」「専門知識や技術面でスキルアップしていける」「多くの人と交流できる仕事だ」は、いずれも企業側の方が割合が高い。「体力的にきつい仕事が多い」は離職者でも企業側でもっとも多いが、数値にはギャップがある。

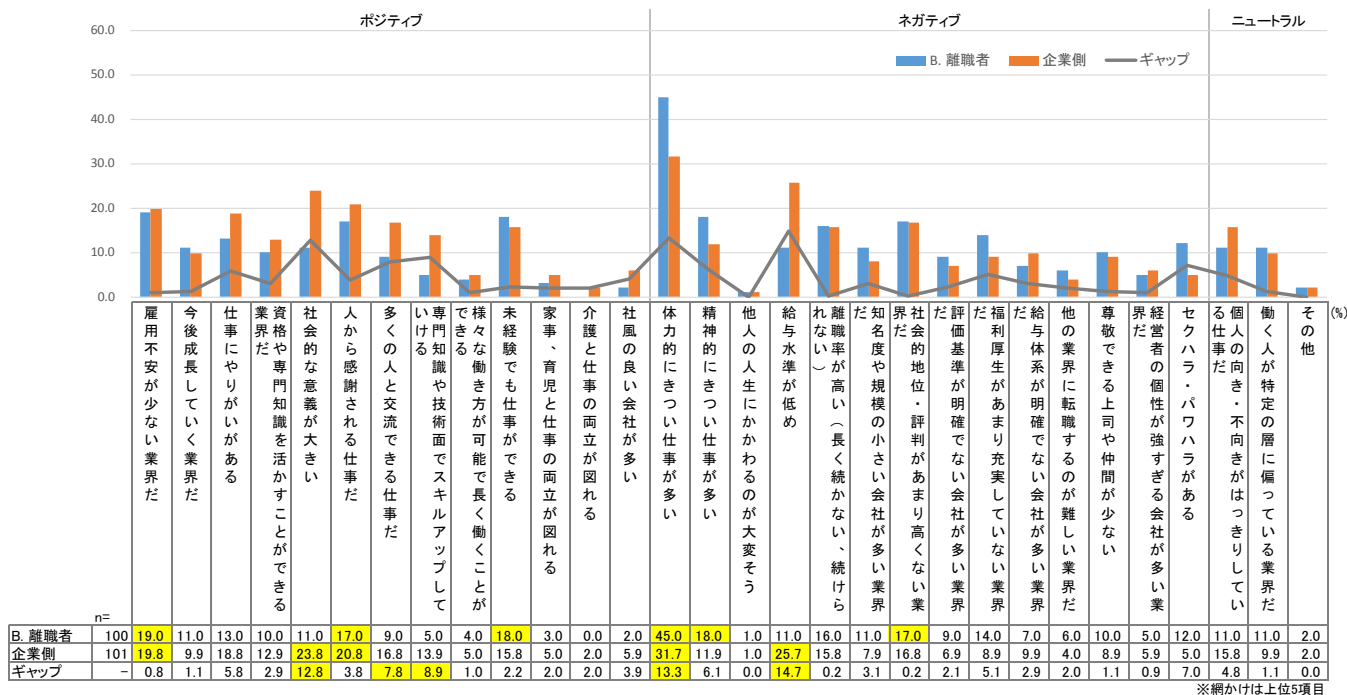


B. 離職者と企業側

離職者と企業側にドライバーのイメージを聞いた。

離職者もつイメージは「体力的にきつい仕事が多い」がもっとも多い。「精神的にきつい仕事が多い」「社会的地位・評判があまり高くない業界だ」など、ネガティブなイメージも上位となっている。企業側がもつイメージのうち、「体力的にきつい仕事が多い」「人から感謝される仕事だ」「雇用不安が少ない業界だ」は離職者の上位項目と一致している。

離職者と企業側のギャップをみると、「給与水準が低め」「社会的な意義が大きい」「専門知識や技術面でスキルアップしていける」「多くの人と交流できる仕事だ」は、いずれも企業側の方が割合が高い。「体力的にきつい仕事が多い」は離職者でも企業側でももっとも多いが、数値にはギャップがある。



【B. 離職者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ドライバーの仕事（MA）

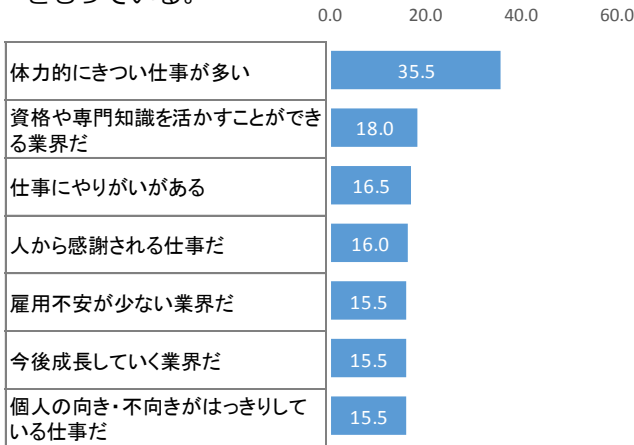
【企業側】

Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。（MA）

業界イメージ 4 C. 意向者とD. 非意向者

■ C. 意向者の上位5項目

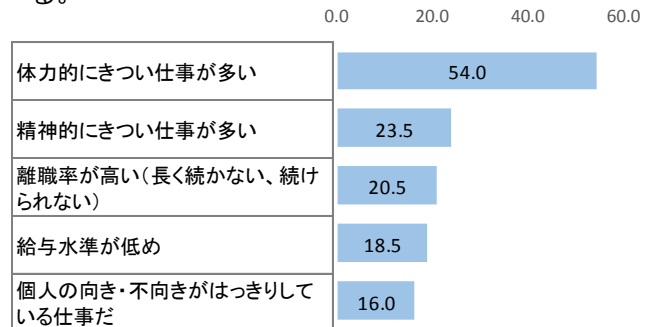
意向者の35.5%が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージを持っているものの、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」「仕事にやりがいがある」など、ポジティブなイメージを持っている。



(%, n=200)

■ D. 非意向者の上位5項目

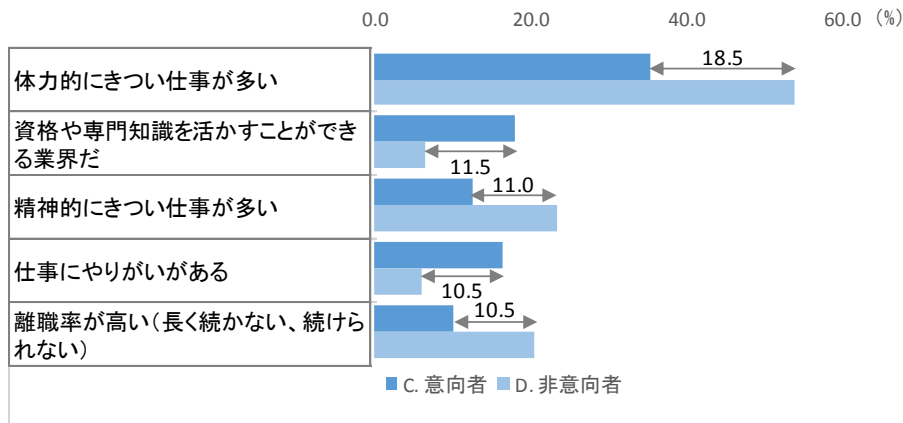
5割以上が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージを持っているほか、「精神的にきつい仕事が多い」「離職率が高い」「給与水準が低め」などのネガティブなイメージを強くもっている。



(%, n=200)

■ C. 意向者とD. 非意向者のギャップが大きい5項目

「体力的にきつい仕事が多い」などネガティブなイメージは非意向者の方が、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」などポジティブなイメージは意向者の方がもっており、両者のギャップが大きい。



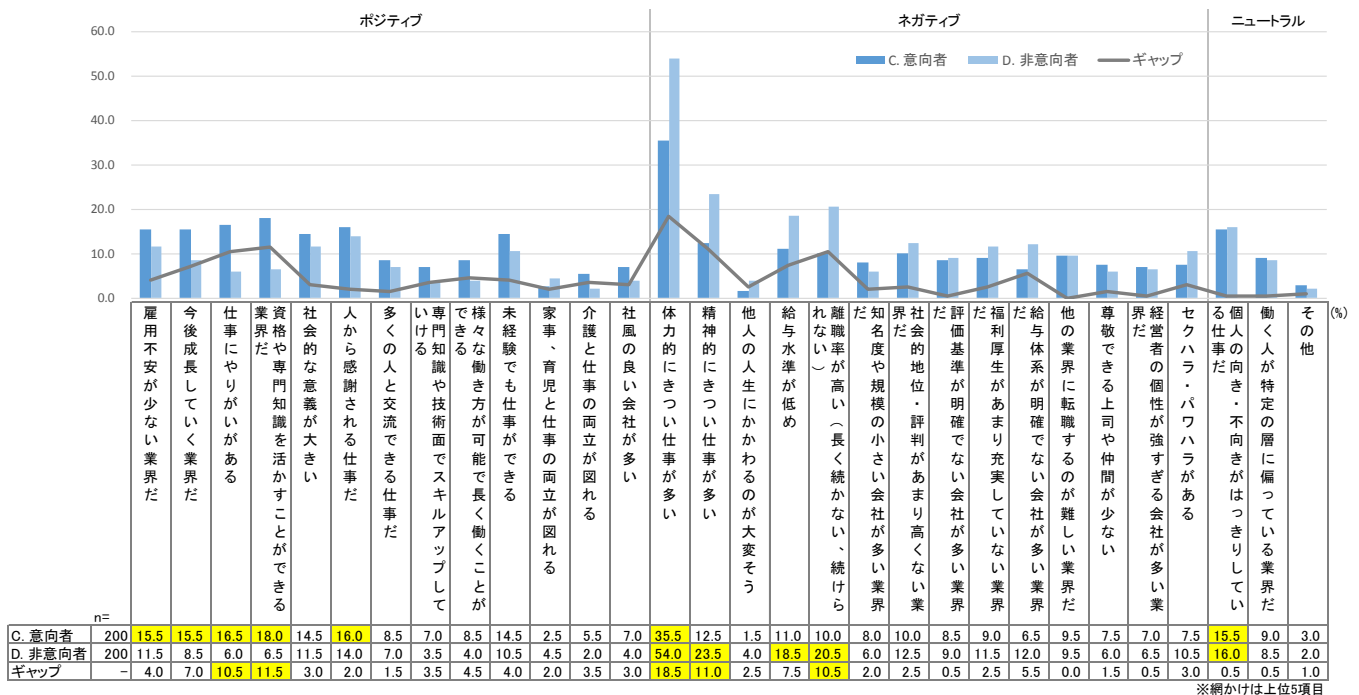
C. 意向者とD. 非意向者

意向者と非意向者に、ドライバーのイメージを聞いた。

意向者の35.5%が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージをもっているものの、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」「仕事にやりがいがある」など、ポジティブなイメージをもっている。

一方で、非意向者は5割以上が「体力的にきつい仕事が多い」というイメージをもっているほか、「精神的にきつい仕事が多い」「離職率が高い」「給与水準が低め」などのネガティブなイメージを強くもっている。

「体力的にきつい仕事が多い」などネガティブなイメージは非意向者の方が、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」などポジティブなイメージは意向者の方がもっており、両者のギャップが大きい。



【C. 意向者、D. 非意向者】

Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／ドライバーの仕事（MA）